

画するにも、ダムや発電所の見学をコースに入れるとなると、新丸山ダム工事事務所や丸山ダム管理所、関西電力(株)の協力が必要となります。

また、ツアーを継続的に開催するには、八百津町内の観光地だけでは、毎回同じコースになってしまうと思います。従いまして、ダム周辺の市町の観光地もコースに入れることで変化に富んだツアーになると思います。そして、ダムの上流地域と下流地域の交流事業も町の活性化につながるかと考えております。

こういったことを総合的に考えますと、本町だけで協議会を作るのではなく、もっと広域的に広い見地に立って協議会を運営するのが良いかと考えております。

ただ、細かい部分での地元との調整となると、町での協議会の立ち上げが必要になるのかもしれないので、今後検討してまいります。



人道の丘公園

駐車場の整備について

問

丸山ダム周辺には3つの公園があり、将来、新丸山ダム完成後の観光客の増加を考えると、駐車場の不足と道路の狭い所があるので、その整備が必要ではないかと思うが、町の考えを伺う。

答

(藤掛建設課長)
最初に3つの公園(人道

の丘公園、めい想の森公園、フレンドリーパーク大平)の駐車場についてですが、現時点で人道の丘公園の駐車場は、観光バスや乗用車のどちらにも対応できております。また、めい想の森公園は、乗用車を45台停めることができます。フレンドリーパーク大平については、公園内の駐車場に乗用車36台と、川の対岸の駐車場に70台停めることができます。夏の観光客が多いときや漁業協同組合が行う行事の時も駐車場が足りないという声は聞いておりません。

次に、道路が狭いところがあるとのことですが、人道の丘公園とフレンドリーパーク大平へつながる道路は、十分な幅員があります。また、めい想の森公園へつながる道路は、幅員が4m程度で、狭いところは3.5mしかなく、自動車のすれ違いができないというところは認識しております。しかし、現在までに交通事故があったという報告は

聞いておりません。この路線は、大変急峻な山腹を通っており、

全線を拡幅改良するには膨大な工事費がかかり、費用効果を考えると非常に難しいと考えております。ただ、部分的に待避所を設置することは可能です。

今後、新丸山ダムの完成に伴い、観光客の動向を見ながら、必要であれば駐車場の増設や待避所の設置を検討してまいりたいと思います。



フレンドリーパーク大平

答

(秋松農林課長)

平成29年度末の町有林は約1396haで、そのうち約60%が保安林となっています。

この保安林分につきましては、解除が難しく、①指定理由の消滅、②公益上の理由の場合に限定されており、民間の保養所等の建設にしましては、町有林の保安林分では無理なため、普通山林としての約504haが検討の対象となりますが、近年、森林経営計画などに基づき、森林環境税などの補助金を活用した森林整備を進めており、補助金投入後の多用途への変更は制限があり、山林の所在地も奥地が多く、進入道路、開発コスト等を考えますと適地はないと考えます。

また、最近の企業の福利厚生施設の考え方も変わってきており、社員のニーズに応じたサービスが提供できるよう、保養所等は民間施設などの外部契約型へと変化しており、昔ながらの企業保有の保養所などはコスト面からも民間委託へと変わってきており、保養所等の誘致は難しいと思われるます。

現在、町ではキリンビール名古屋工場と連携し、水源の森活動や、めい想の森町有林でのJT B地球いきいきプロジェクト活動等、町有林等を活用した事業を展開しております。今後も森林環境税の活用や現

Q2 町有林の開放について

町有林の利用について

丸山ダム周辺には3つの公園があり、環境も素晴らしいので、町活性化のために町有林を開放して、会社等の保養

所を誘致したらどうか。

在参加しております、木曾三川

流域の水環境を守るため流域市町村が一体となって取り組んでいる木曾三川流域自治体連携会議等の活用により、下流域と上流水源地の水源地環境整備の連携など、町有林及び自然を活用した町活性化につながるような活用方法について、各種規制の範囲内でできることを検討していきたいと思っております。



めい想の森

加藤良治議員

Q1 第5次総合計画について

地域福祉の充実について

八百津町のすべての分野の行政運営の基本となるものであり、策定後、それぞれの分野の実施計画に基づいて実行されておられ、町民の参画と行政との協働の下、安心と生きがい

の行政運営の基本となるものであり、策定後、それぞれの分野の実施計画に基づいて実行されておられ、町民の参画と行政との協働の下、安心と生きがい